

令和8年度 前期学校評価アンケート結果について

京都市立衣笠中学校 校長 河邊利夫

保護者の皆様には、前期学校評価アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

生徒・保護者・教職員を対象に実施したアンケート結果をもとに、本校の教育活動について振り返りを行いました。その概要についてお知らせします。

本校のよさとして見えてきたこと

1 温かな人間関係と仲間づくり

生徒アンケートでは、「人を大切にしている」「自分と違う考えを受け入れられる」「友達と協力して高め合おうとしている」といった項目で高い評価が得られました。

また、保護者アンケートでも、生徒会活動をはじめとした自主的な活動や、いじめを許さない集団づくりについて肯定的な評価をいただきました。

本校の教育目標である「寛容」「共生」の姿が、生徒同士の温かな関係や学校の雰囲気として表れていると考えています。

2 授業づくりと生徒理解

「授業がわかりやすい」「評価方法がわかりやすい」「悩みや相談に応じてくれる」といった項目について、生徒から高い評価を得ることができました。

今後も、一人ひとりの生徒に寄り添いながら、学びが深まる授業づくりに取り組んでまいります。

3 ICTを活用した学習

タブレット端末等のICT機器を活用した学習については、生徒・保護者・教職員のいずれからも高い評価をいただきました。

ICTを効果的に活用しながら、生徒の学習意欲や思考力を高める授業づくりを引き続き進めていきます。

4 生徒会活動を中心とした自治的活動

生徒会活動や学校行事などを通して、生徒が主体的に学校をよりよくしようとする姿が見られます。

保護者・教職員からも高い評価をいただいております、本校の大きな強みの一つとなっています。

今後の課題と取組

1 家庭学習習慣の定着

今回のアンケートでは、家庭学習への取組について、生徒・保護者ともに他の項目と比べて評価が低い結果となりました。

学校での学習意欲を家庭での学習習慣につなげることができるよう、家庭と連携しながら、自ら学ぶ力の育成に取り組んでまいります。

2 読書習慣の充実

読書に関する項目についても改善の余地が見られました。読書は学力の基盤となる大切な活動です。

今後も朝読書や図書館活動の充実を図りながら、読書に親しむ機会を増やしていきます。

3 探究的な学びの発信

生徒は探究的な学習に意欲的に取り組んでいる一方で、その成果や意義については保護者の皆様へ十分に伝わっていない面があることが分かりました。

今後は、総合的な学習の時間や各教科での学びの様子をより積極的に発信し、生徒の成長を共有できるよう努めてまいります。

おわりに

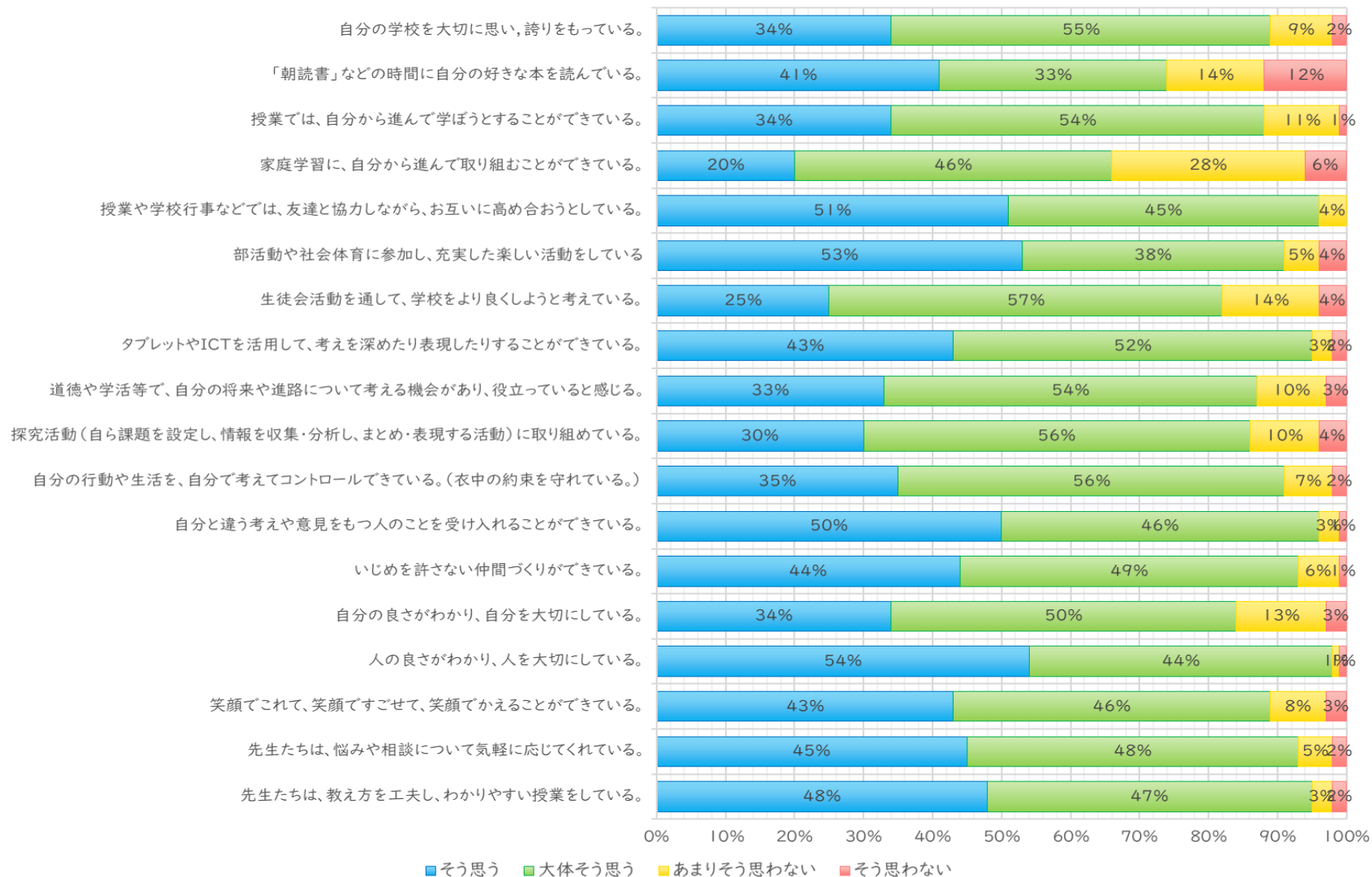
本校では、学校教育目標である「自立・寛容・共生」の実現に向けて教育活動を進めています。

今回のアンケートからは、「寛容」「共生」の面で成果が見られる一方、自ら考え行動する「自立」の力の育成が今後の課題であることが分かりました。

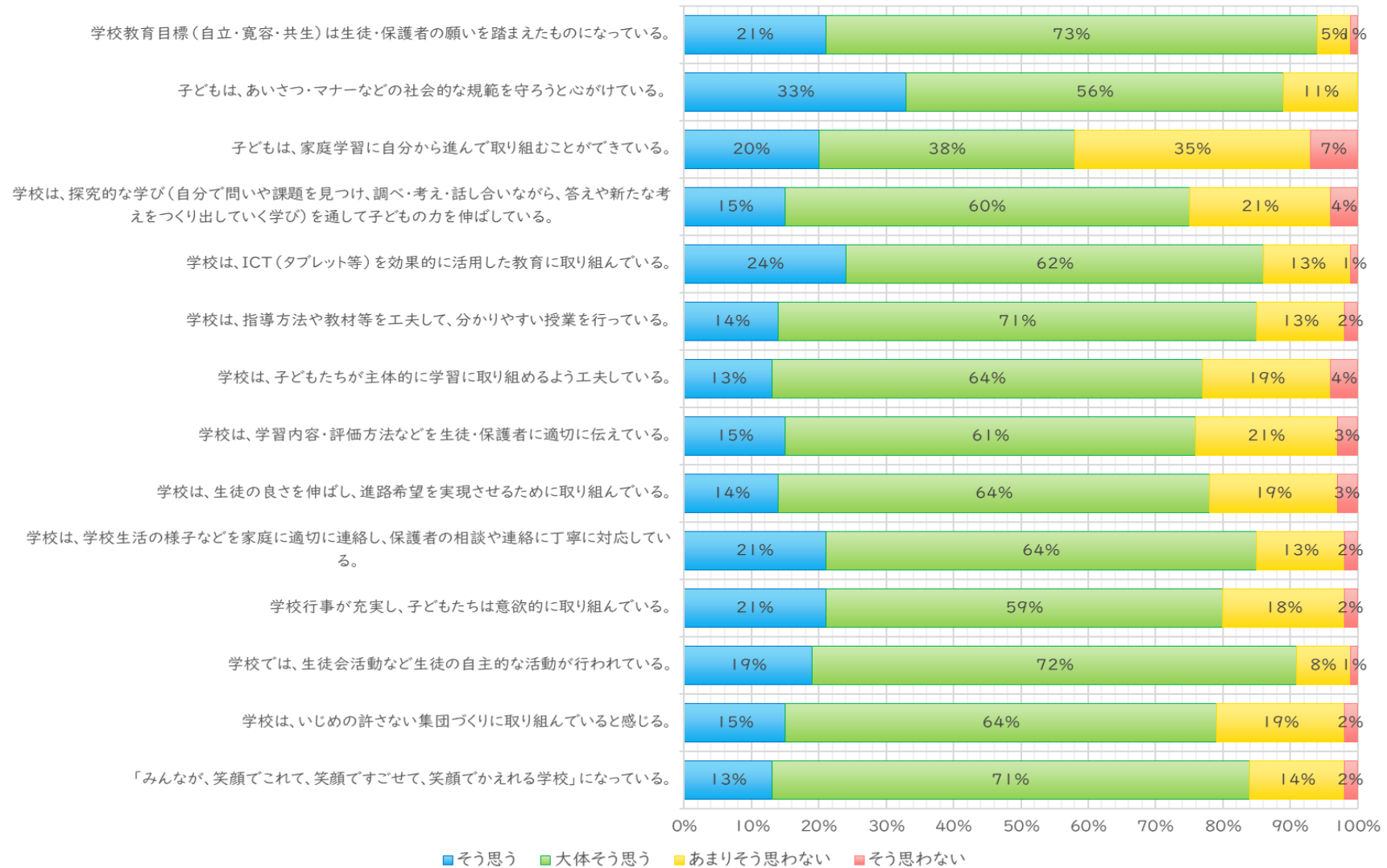
また、本校が目指す～みんなが「笑顔でこれて、笑顔ですごせて、笑顔でかえられる」学校～の実現に向けて、

すべての生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、教職員一同、今後も教育活動の充実に取り組んでまいります。

■令和8年度 前期 学校評価アンケート結果（全校生徒）



■ 令和8年度 前期 学校評価アンケート結果（保護者）



■ 令和8年度 前期 学校評価アンケート結果（教職員）

